



## 槻木小学校吹奏楽部

仙南地区で唯一の小学校の吹奏楽部で、  
県代表として東北大会に出場したこともある槻木小学校吹奏楽部。  
現在、4年生から6年生までの33人の部員が所属しています。  
7月23日(日)に行われた全日本吹奏楽コンクール予選  
名取・仙南地区大会「小学校の部」で金賞を獲得し、県大会に出場しました。  
町のイベントなどでも演奏を披露し、会場を盛り上げてくれています。  
【写真:10月15日(日)「しばた産業フェスティバル・環境フェア」】





特集 1

# 地震対策総合防災訓練

問 総務課 ☎55-2111



10月1日(日)、平成29年度地震対策総合防災訓練が行われました。

この訓練は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災(マグニチュード9.0(世界最大級・「関東大震災7.9」の45倍))による被害を教訓として、今後高い確率で発生が予想される大規模地震に備えるために実施したものです。

当日は、「午前7時00分頃、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の大規模地震が発生した」という想定のもと、緊急速報メールを配信。直ちに職員が役場庁舎に参集して、町長を災害対策本部長とした災害対策本部を設置しました。

その後、船迫中学校校庭を会場に、柴田町消防団や陸上自衛隊第2施設団をはじめとする防災関係機関や各種団体、企業、第29A・29C・29D区の自主防災組織、船迫中学校の生徒など29の団体が参加し、様々な被害の場面を想定した24種類の訓練を実施しました。

- ①宮城県防災ヘリコプターによる救出・救護訓練
- ②災害対策本部設置運用訓練
- ③船迫中学校へ避難する第29A区区民
- ④船迫中学校に参集した29の防災関係機関、各種団体
- ⑤柴田町婦人防火クラブ連合会による炊き出し訓練
- ⑥煙中通過訓練
- ⑦柴田町消防団と自主防災組織による倒壊ブロック塀からの救出救護訓練

- ⑧柴田町上下水道組合によるライフライン復旧訓練
- ⑨柴田町電友会によるライフライン復旧訓練
- ⑩船迫中学校生徒による応急手当訓練
- ⑪火災防ぎょ訓練
- ⑫仙南地域広域行政事務組合白石消防署による梯子車体験搭乗訓練
- ⑬陸上自衛隊第2施設団による土砂埋没救出救護訓練





7



6



5



10



9



8



13



12



11

地震対策総合防災訓練は、柴田町消防団だけでは実施できません。各行政区の自主防災組織や婦人防火クラブをはじめ、さまざまな団体がお互いに連携して実施することがたいへん重要だと考えます。

そのためには、普段から気軽に声掛けができ、連絡が取り合えるようにしておかなければならないと思います。

災害は、必ず起きます。しかし、災害が発生した時には、各団体が連携し協力することで、被害の拡大を防ぐことができます。

我々消防団員は、自助・共助のもと、地域の安全・安心のために頑張っていますので、町民の皆様には、更なるご理解とご協力をお願いしたいと思います。



柴田町消防団  
平間泰夫 団長



仙台大学 仙台市立総合体育館 新体操練習場  
ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿公開演技会 in 柴田町 仙台大学



10月3日(火)から10月11日(水)にかけて、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム2020年東京オリンピック事前合宿(SAKURACAMP2017)がホストタウンである柴田町および白石市で行われました。

6日(金)、9人の選手とコーチらのスタッフ6人の計15人が滝口町長を表敬訪問。その後、大光寺、浄心幼稚園、槻木小学校を訪れて日本文化の体験や子どもたちとの交流を行いました。7日(土)には仙台大学を会場に公開演技会を行い、華麗な演技が披露されました。

**ベラルーシ共和国  
新体操ナショナルチーム**

新体操の強豪国として知られ、今回コーチとして参加したマリナ・ロバチさんは、昭和63年のソウルオリンピックに当時のソ連代表として出場し、個人総合で金メダルを獲得していま

す。

昨年のリオオリンピックでは団体が5位、個人総合でカチエリーナ・ガルキナ選手が9位。今年7月にベリンで行われた2017新体操チャレンジ杯ドイツ大会では団体が3位、個人総合でカチエリーナ・ガルキナ選手が1位になっています。また、合宿直前に東京で行われたイオンカップ世界新体操クラブ選手権大会でもカチエリーナ・ガルキナ選手がシニア個人総合3位、アナスターシャ・サロス選手がジュニア個人総合2位になるなど、2020年東京オリンピックでもメダルの獲得が期待されています。

イリーナ・レパルスカヤ  
ヘッドコーチ



マリナ・ロバチ コーチ



カチエリーナ・ガルキナ選手



アナスターシャ・サロス選手





## 表敬訪問

10月6日(金)、選手らを乗せた車が役場庁舎に到着すると、滝口町長、水戸副町長、町の職員が盛大に出迎え、折鶴を繋げたレイを全員の首に掛けて歓迎しました。



## その後、滝口町長との会

談が行われ、滝口町長は、「『花のまち柴田』から東京オリンピックに向けて頑張っていたきたい。町を挙げて全力でサポートします」と話しました。



## 大光寺

選手たちが船岡の大光寺を訪れて本堂などを見学し、大光寺講員によるご詠歌の披露なども行われました。選手たちは初めて見る日本のお寺に興味津々で、スマートフォンで写真を撮ったり、お寺の歴史などについて住職に熱心に質問したりしていました。その後、地藏絵を書き写す「写仏」も体験しました。



## 浄心幼稚園

選手が到着すると、園児たちがベラルーシの国旗を振って歓迎しました。お遊戯を選手たちに披露し、途中からは選手たちも園児と一緒に踊る場面もありました。最後に園児から「東京オリンピック頑張つてね」と激励を受け、その可愛らしい姿に選手たちは終始笑顔で接していました。



## 槻木小学校

選手たちに吹奏楽部の演奏と4年生全員で「槻小ソラン」を披露しました。お返しに選手がリボンやボール、フープなどで簡単な演技を披露すると、児童からは歓声があがり、会場は大いに盛り上がりました。その後、6年生が教室で選手たちと一緒に給食を食べ、交流を深めました。















公開演技会終了後、カチエリーナ・ガルキナ選手（20歳）にお話を伺いました。



新体操を始めたきっかけを教えてください。

親のすすめで、私が5歳の時にスポーツ施設に通うことになりました。体操や新体操、フィギュアスケート、水泳の中で、私は体操を習いたいと思っていました。初めての施設、体操の教室と思って入った教室は、新体操の教室だったのでそれが新体操を始めたきっかけです。

SAKURACAMPの感想はいかがでしたか。

日本に来るのは今回で6回目になります。今までは、ずっと東京滞在でした。東京のような大都会ではなく、

小さな町で日本の歴史や文化、生活に触れたいと思っていたので、柴田町でのSAKURACAMPはとても良い経験になりました。日本が本当に好きなので、もっと日本のことについて勉強したいと思っています。

SAKURACAMPで印象に残ったことはありますか。

お寺や幼稚園、小学校を訪れて日本の歴史や文化に触れることができました。このような機会を与えてくださったことにとても感謝しています。また、どこに行っても皆さんが歓迎してくれてとても嬉しかったです。

オリンピックに向けての目標を教えてください。

目標については、あまり人前で言うことはしたくありませんが、内心ではトップを目指しています。

日本で新体操をしている子どもたちに向けて一言。

レベルが高い人は、4、5歳でスポーツを始めています。初めは楽しくやれば良いと思います。10〜12歳くらいになったら目標を定めて取り組めば、きつと夢が叶うと信じています。一生懸命やれば、宇宙から助けてもらえる、良い成果を出せると思っています。

2日間にわたって町を訪れた選手団の皆さんから、「柴田町の皆さんから、大変、心のこもったおもてなしをしていただき、感謝しています。柴田町を事前合宿地に選んだことは正解だったと実感しています。選手団は2020年の本番に向かって、皆様の期待に添えるよう、一層の練習に努めます。また、来年、お会いしましょう」との言葉をいただきました。

次回の事前合宿は、来年の夏頃を予定しています。

## ベラルーシ共和国

東ヨーロッパに位置する共和制国家で、東にロシア、南にウクライナ、西にポーランド、北西にリトアニア、ラトビアと国境を接する内陸国。17世紀にロシア帝国の支配下に入るとベロルシアと名付けられ、日本では「白ロシア」の呼び名が長く定着していましたが、ソビエト連邦が崩壊した平成3年に現在の国名となりました。国土の大部分が低地で多くの森林と湖があり、気候は比較的温暖な大陸性気候です。

首都：ミンスク市

面積：20万7,600 km<sup>2</sup>（日本の約半分）

人口：約960万人（平成29年1月現在）

言語：公用語はロシア語、ベラルーシ語

民族：ベラルーシ人（83.7%）、ロシア人（8.3%）、ポーランド人（3.1%）、ウクライナ人（1.7%）



## SAKURA CAMP2017参加者

### 【コーチ】

イリーナ・レパルスカヤ  
マリーナ・ロバチ  
タチアナ・ニナシエバ  
カチェリーナ・ビアリアウスカヤ

### 【理学療法士】

バリーズ・クルーク

### 【選手】

（個人）

カチェリーナ・ガルキナ  
アリーナ・ガルノシコ  
アナスターシャ・サロス

（団体）

アリーナ・チィチィリーナ  
マリア・カチャック  
マルガリータ・アバドゥジンスカヤ  
アンナ・シェバイバ  
アナスターシャ・リバコワ  
アンナ・ガイドウケビチ





141

柴田町長 滝口 茂

勤労感謝の日は、勤労をたつとび、生産を祝い、国民が互いに感謝しあうことを趣旨として制定されました。

農業国家であった頃のわが国には、皆で米作り

を行い、五穀の収穫を神に感謝することで、働く喜びを感じる感性が息づいていました。産業構造が農業から工業へと変化しても、労使協調、終身雇用といった家族的な雰囲気での経営が行われ、働く人が大切にされてきました。こうしたわが国独自のしくみが経済の強みとなって、戦後の高度経済成長を支えたものと思っています。働く側にも、会社のために一生懸命に働けば給料が増え、地位も上がり、家族のためにマイホームも手に入れることができました。長時間モーター社員として働いても、誰もそれを苦痛だとは思いませんでした。

しかし、バブル崩壊後、産業のグローバル化や情報化の波が押し寄せ、企業は世界規模での競争を余儀なくされるようになりまし。また一方で、日本の人口が減り、2030年には約700万人もの労働力不足が懸念されるようになっていきます。こうした状況を踏まえ、国や経済界側からは、今後のわが国の持続的な発展の

## 働き方改革について

ための方策として、労働の量や質の改革が提起されました。まず取り上げられたのが、雇用に関する規制緩和でした。確かに、規制緩和によって、企業の競争力の強化や経済の活性化が図られました。その副作用として、長時間労働による過労死の問題、派遣社員や契約社員と正規社員との格差の拡大、いわゆるブラック企業の誕生など、

働き手を単に雇用の調整弁としか考えない風潮が蔓延してしまつたのは、とても残念なことです。

さらに、国は働き方の改革として、労働時間ではなく成果によって給料を支払う制度の創設を検討しています。仕事が多様化した今日、成果主義は一見耳当たりが良く聴こえますが、全国で労使間のトラブルが絶え間なく、裁判沙汰になつていいる事例も散見されることから、この制度の導入が弱い立場にある働く側に不利にならないか心配です。

本来、働くということとは、自分の能力を活かし、人間らしい生活をするために行うものです。経営者も働き手の能力を引き出しながら会社を発展させ、社会のために貢献することに存在意義があります。

勤労感謝の日を迎え、改めて働く意義を考え直してみたいと思います。

## 郷土史めぐり

### さし絵のはなし②

柴田町文化財保護委員 山家 美智子

柴田町文化財保護委員会が編集・出版した「しばたの歴史ガイド」のさし絵を担当した山家美智子さんのお話  
2回目は、「山城をハサミでチョン切る」です。

縄文時代後期の遺跡から見つかった小岩版には魚の印刻があります。何に用いたのかは謎ですが、魚の鱗や鰭がはつきり刻まれているのです。しかし、写真では見えにくい



ため鉛筆デッサンで描いてみると、鱗がよく見えるようになりました。あの単調なデッサンを若いころやっておいて良かったと思つ瞬間でした。

自然の地形を利用した要塞に、中世の山城があります。山の上に郭くわくという砦とりでを築いてたてこもつたり、敵が登つて攻めてくるのを妨げるような仕掛けを作ります。資料に忠実な絵を描いて持つていくと、「柴田町にはこんなに高い山はないよ」「山城の下に家臣の屋敷はなく、神社もない」とのことでした。それならばと、描いた山城の曲がりくねった道を三段ほど残し、ハサミでチョン切り、文字通りの低い山にして下の田んぼとつないでみせました。



⑧





# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ40

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第40回のテーマは「食後の高血糖」です。

平成27年度柴田町特定健康診査の結果では、血糖検査有所見者の割合は約7割で、全国の割合を大きく上回っています（右図参照）。そのため、高血糖予防は町民にとって重要な健康課題となっています。

## 「血糖値スパイク(食後高血糖)」をご存知ですか

血糖値は食後に上昇しますが、通常は正常範囲内（70～140 mg/dℓ）に収まっています。しかし、食後の血糖値が正常範囲を超えて急上昇する場合があります、「血糖値スパイク（食後高血糖）」と呼ばれています。

食後高血糖が生じると糖尿病のリスクが高まるだけでなく、動脈硬化が進み心臓病や脳卒中の原因となります。また、健診結果が正常範囲であっても食後高血糖が起きている可能性もあるため、食後の血糖値上昇を緩やかにする生活習慣が大切です。



## 糖尿病のリスクを減らすために、次のような生活習慣を実践してみましょう

### 1. 炭水化物の「重ね食い」をやめる

炭水化物は吸収が早く、血糖値を急上昇させます。血糖値の急上昇を抑えるには、主食、主菜、副菜がバランスよく採れる定食がおすすめです。



### 2. 「野菜」から食べる

野菜のおかずをご飯などの主食よりも先に食べると、食物繊維の働きにより、食後の血糖値上昇が緩やかになります。食べる順番を意識してみましょう。



### 3. 「歩いて」血糖値を下げる

食後の血糖値上昇のピークは60～90分後。食後に体を動かす習慣をつけましょう。



## 保健師からのワンポイントアドバイス

健康診断の結果で血糖検査（HbA1c）が6.5%以上の方は糖尿病が強く疑われます。医療機関で受診し、早期発見、早期治療を心掛けましょう。

広 告

広 告



# まちかど NEWS



和裁が得意でとても手先が器用な鈴木さん



読書や旅行が好きな吉田さん

## 100歳おめでとうございます

海老穴地区の第二常盤園に入所されている鈴木ヨシ子さん（9月20日（水）に、吉田よしさんが10月10日（火）にそれぞれ満100歳を迎えられ、ご家族や第二常盤園の皆さんが長寿をお祝いしました。

お二人とも柴田町出身で、多くのお子さん、お孫さんに恵まれ、生まれ故郷の柴田町で100歳を迎えることとなりました。町内で100歳を超える方は、お二人を加えて16人になりました。いつまでもお元気でいらしてください。

## 全国大会優勝「全国高校生花いけバトル」

9月14日（木）、今年8月に香川県高松市で行われた「全国高校生花いけバトル」で見事優勝した柴田農林高等学校3年の山田愛里沙さん（船岡新栄地区）、大庭涼佳さん（白石市）ら4人が滝口町長に結果の報告に訪れました。

「花いけバトル」は、会場に用意された花を5分間以内に即興で生け、観客らが審査して勝敗を競うもので、高校生を対象とした全国大会は今年初めて開催されました。

山田さんは、「大会はすごく緊張しましたが、優勝できて嬉しいです」と話してくれました。



優勝したチーム「モルフォ」の大庭さん（右から2番目）と山田さん（右から4番目）



趣向を凝らした様々な余興に大いに盛り上がりました

## 笑顔で長寿をお祝い「第11D区敬老会」

9月16日（土）、新大原集会所で「第11D区敬老会」が行われました。当日は、招待された敬老会の会員66人のうち43人が参加し、会員全員で「さんさ時雨」を合唱したほか、地区の方々によるフルート演奏や舞踊、カラオケなどの余興も行われ、会場には明るい笑い声が響いていました。

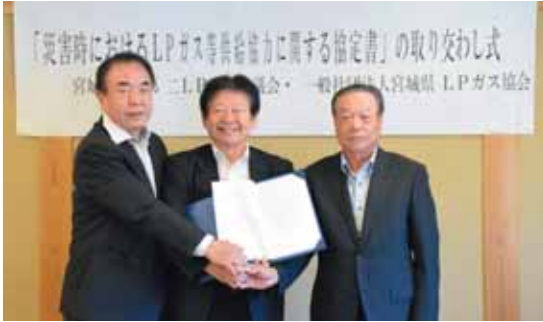
今年88歳で米寿のお祝いを贈られた加藤政義さんは、「敬老会の行事にはいつも参加しています。健康の秘訣は適量のお酒と、庭いじりなどで適度に体を動かすことです」と話してくれました。

## 「災害時におけるLPガス等供給協力に関する協定」締結

9月26日(火)、町と宮城県仙南第二LPガス協議会および一般社団法人宮城県LPガス協会との間で、「災害時におけるLPガス等供給協力に関する協定書」の取り交わし式が柴田町太陽の村で行われました。

この協定により、災害発生時にLPガスや簡易コンロなどを優先的に避難所へ提供してもらおうことができるようになります。

滝口町長は、「この協定により、災害時への備えが更に強化されたことはとても心強い」と話しました。



この災害協定の締結は、県内で30例目となりました。



西住小学校で行われた第1、第2ヴァイオリン、ピアノ、チェロによる演奏

## 北日本電線スクールコンサート

9月19日(火)、東船岡小学校と西住小学校で「北日本電線スクールコンサート」が行われました。

このコンサートは、船岡と楸木にそれぞれ事業所がある北日本電線株式会社が子どもたちにプロの音楽家の演奏を聴いてもらおうと開催したもので、昨年に引き続き仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーが小学校を訪れ、アンコールを含め全8曲を演奏しました。

子どもたちは、弦楽四重奏が奏でるふくよかな音色に聴き入っていました。

## 仙南の「B級グルメ」が勢ぞろい

10月1日(日)、船岡城址公園で、「第7回しばたB級グルメフェスティバル」が柴田町商工会青年部の主催で開催されました。

ステージではお笑いコンビ「ストロングスタイル」の司会のもと、様々なアトラクションが行われ、会場は多くの来場者で賑わっていました。

お父さんと一緒に訪れていた松崎玲奈さん(船岡小1年)は、楽しみにしていたという『ホルモンせんべい』を食べながら、「ちょっと辛いけどおいしいです」と話してくれました。



21店舗が出店し、行列ができるほどの盛況ぶりでした。



当日は、約1,200人の来場者が訪れました。

## 実りの秋を祝って 第14回しばた新米まつり

9月30日(土)、JAみやぎ仙南本店で、「第14回しばた新米まつり」が行われました。

柴田小学校の児童による大黒舞、柴田よさこい美翔連によるよさこい演舞で幕を開けると、新米や朝採り野菜の販売、餅つき体験のほか縁日コーナーなども設けられ、会場は大いに賑わっていました。

家族で訪れていた及川雪兔さん(柴田小3年)は、「甘くて美味しいです」と新米を食べた感想を話してくれました。

広告

広告



俳句

子の墓を洗う雫の限りなく  
下名生 笠松ふみ子

雨あがり秋明菊のほほえみて  
船岡 可沼 妙子

曼珠沙華おねだり猫のひげのよう  
西船迫 安ヶ平奈津枝

本の中作者と遊ぶ秋夜長  
船岡 安藤 節子

食欲に負けてみじめな太鼓腹  
西船迫 下浦 智子

独り寝にや虫の音ばかり二里三里  
葦神 葛

遠浅に翼をたたむ冬銀河  
石母田星人

スーパームーン押し出してゐる枯木山  
鈴木 三山

雪虫の翅透け生きるもの愛し  
相馬カツオ

今年米すなほな湯気の匂ひかな  
鈴木 幸子

かりがねの空に触れたる鐘の音  
鈴木 清子

鼻や咎ある如く目を瞑る  
鎌形 清司

冬紅葉池の底より緋を放つ  
小島 米子

蒼天の峡の集落柿たわわ  
齋藤 善則

露天風呂浮かぶ紅葉をそつとよせ  
伊東 和子

川柳

目も鼻も指先までも母ゆずり  
西船迫 渡辺 晴江

生真面目と下戸人生で友不足  
槻木 大宮 二郎

この季節ネコのぬくもり分けあつて  
船岡 小林 夢子

彼岸花土手が舞台のバレリーナ  
槻木 村上 紫寿

電車内スマホ操作で皆無口  
西船迫 後藤 文子

お互いにイヤホン付けて深夜便  
船岡 阿部美代子

車窓より走るよ走る実る穂が  
西船迫 安ヶ平良三

立ち合のうまさがる勝なのり  
槻木 つきのき町子

秋景色帰化植物で大変化  
西船迫 舟廻めぐる

短歌

いつの間に夏はおはりて空たかく  
きんもくせいの香りひそかに  
船岡 可沼 妙子

紅ひいて玄関先でひと呼吸  
「デイサービス」の車待ちいる  
船岡 伊藤タイ子

うたた寝を孫の小声に起こされる  
座敷童子に「爺遊ぼう」と  
本船迫 森田 真六

ブランドのリコール続く奈落坂  
人を育てず人を殺せば  
大槻 信吉

秋ざくら風メロディーに夢心地  
ふわふわふわとゆうらゆうらと  
船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで11月8日(水)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



# 柴田町の 記憶 をたどって

かつて、秋の恒例行事として町を挙げて盛大に開催された「町民体育祭」。全行政区が参加しての対抗戦で大いに盛り上がりました。



昭和37年11月3日、第4回町民体育祭の「女子人生りレー」。各世代がバトンを繋いでゴールを目指す種目でした。



昭和57年10月10日、第18回町民体育祭の「学年別りレー」。プログラム最後の花形種目で、応援にも熱が入ります。

# こども美術館



東船岡小学校1年  
櫻内 颯真さん

「おおきなかぶ」(絵)



「七日町駅（会津若松）」(絵)

東船岡小学校6年  
鈴木 神南さん

広 告

広 告

## 広報 **しばた** お店や会社のPRに 有料広告募集中!

「広報しばた」に掲載する広告を募集しています。お店や会社のPRなど、暮らしに役立つ広告をお待ちしています。掲載料金などの詳しい内容については、お問い合わせください。

☎まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告



思いを胸に Vol.49

『安全第一を心掛けています』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



洗面所のシーリング工事を行う山田さん

有限会社山田防水工業

山田 貴光さん(30歳)  
やまだ たかみつ

船岡東2丁目に事務所を構える有限会社山田防水工業。「防水工業」という聞き慣れない社名について伺うと、「建物の屋根や屋上、ベランダの床を張り替える防水改修工事や、お風呂や洗面所など水回りの工事を行っている会社です。防水工事を社名に掲げて専門に請け負う会社は近隣には少ないので、県外での仕事も多いです」と答えてくれたのは、入社6年目の山田貴光さんです。

山田さんは、以前は別の会社に勤めていましたが、結婚を機に奥様が勤めている現在の会社に入社しました。工事現場での施工から書類の整理などの事務まで幅広く仕事をしています。

全く異なる業種からの転職だったとのこと、さぞかし苦労されたのではと伺うと、「夏の暑さやこれからの時期の寒さには苦労しますが、仕事を大変だとか辛いと思ったりは一度も無いです。それよりも、屋上など高い所での作業が多いため、常に『安全第一』を心掛けて仕事をしていますね」と話してくれました。

現在は、近々試験が行われる施工管理技士の資格取得に向けて勉強中だそうです。

休みの日は、6歳、4歳、2歳の3人の娘さんたちと遊んだり、「家族で買い物やドライブに出掛けたりして過ごすことが多いそうです。3匹の愛犬の散歩も欠かせません。

また、柴田町商工会青年部や一般社団法人さくら青年会議所の一員として地域貢献活動などにも積極的に参加して活躍されている山田さん。どんな質問にも明るく気さくに答えてくれました。

これからも頑張ってください。

有限会社山田防水工業

柴田町船岡東2丁目8-10 TEL 0224-54-1302



平成元年設立。建物の屋根や屋上、ベランダなどの防水改修工事や水回りの工事・メンテナンスなどを手掛ける。従業員7人。

人口と世帯数  
(平成29年10月1日現在)



38,007人  
(前月比30人減)



18,993人  
(前月比19人減)



19,014人  
(前月比11人減)



15,578世帯  
(前月比12世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。